

畳をフローリングに変更



和室を印象づけ、その使い勝手の基となる畳。これをフローリングやカーペットに張り替えます。このケースは和室の建具(襖やドア)や壁はそのままだけをフローリングへと張り替える床面のみのリフォーム例です。畳と畳寄せを撤去した後、下地調整木工事を行いフローリングを張っていきます。

床や鐘・天井も洋室化



畳からフローリングへの変更とあわせて、壁や天井、室内全てを洋室に合うようにリフォームした例です。床だけでなく壁や天井もフローリングの雰囲気に合わせて変更すると、和室の名残は完全に払拭できます。またソファやベッドなど重量のある家具を気兼ねなく置くことができます。

押入れをクローゼットへ



和室独自の良さは活かしながら、収納スペース(押入れや天袋)のみをクローゼットなど洋風に変更するリフォーム例です。襖を撤去しクローゼットとなる内部の仕切りやハンガーパイプといった内部収納ユニットを設置します。収納がしやすい折れ戸タイプにしたり、湿気対策として調湿材を使用してみるなど、工夫すると使い勝手が格段に良くなります。



孫はフローリングのお部屋に慣れているので畳のお部屋は嫌がっていました。リフォーム後は、孫も喜んで泊まってくいようになりました。



前までは畳の上に布団を敷いて寝ていましたが、これからはベッドで寝ることができる子供たちも大はしゃぎ。掃除も楽そうで嬉しいです♪

